

著者紹介

監修・著者

岩田健太郎

1997年鳥根医科大学医学部医学科卒業後、沖縄県立中部病院研修医、1998年米国セントルークス・ルーズベルト病院内科レジデント、2001年米国ベスイスラエル・メディカルセンター感染症フェロー、北京インターナショナルSOSクリニック家庭医を経て、2004年亀田総合病院感染症内科部長、総合診療感染症科部長となる。2008年より、神戸大学大学院医学研究科微生物感染症学講座感染治療学分野教授。著書に『極論で語る感染症内科』（丸善出版）、『高齢者のための感染症診療』（丸善出版）、他多数。

著者

岩岡 秀明

1981年千葉大学医学部卒業後、同大学第2内科入局。同大学医学部附属病院および国立柏病院にて内科臨床研修終了後、国立佐倉病院内科、成田赤十字病院内科等を経て、2002年4月より船橋市立医療センター代謝内科部長となる。2012年より千葉大学医学部臨床教授を併任。日本糖尿病学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医・指導医。著書に『ここが知りたい！糖尿病診療ハンドブック Ver.4』（中外医学社）、『プライマリ・ケア医のための糖尿病診療入門』（日経BP社）、他多数。

栗林 伸一

1980年千葉大学医学部卒業後、同大学第2内科入局。国保旭中央病院、新八柱台病院（副院長）を経て、1993年医療法人社団 三咲内科クリニック開設（院長・理事長）。全国臨床糖尿病医学会理事・学術委員長、千葉県臨床糖尿病医学会会長、日本糖尿病学会専門医、日本内科学会総合内科専門医。著書に『ここが知りたい！糖尿病診療ハンドブック Ver.4』（中外医学社）、他多数。

高瀬 義昌

1984年信州大学医学部卒業。東京医科大学大学院修了。麻酔科、小児科を経て、2004年訪問診療を中心とする医療法人社団 至高会 たかせクリニック開設（理事長）。在宅医療における認知症のスペシャリストとして厚生労働省推奨事業や東京都・大田区の地域包括ケア、介護関連事業の委員も数多く務める。日本プライマリ・ケア連合学会認定医、日本老年精神医学会専門医。厚生労働省高齢者医薬品適正使用ガイドライン作成ワーキンググループ構成員。昭和大学客員教授。著書に『認知症の治療とケア 第2版』（じほう）、他多数。